

○沖縄地方の地震活動

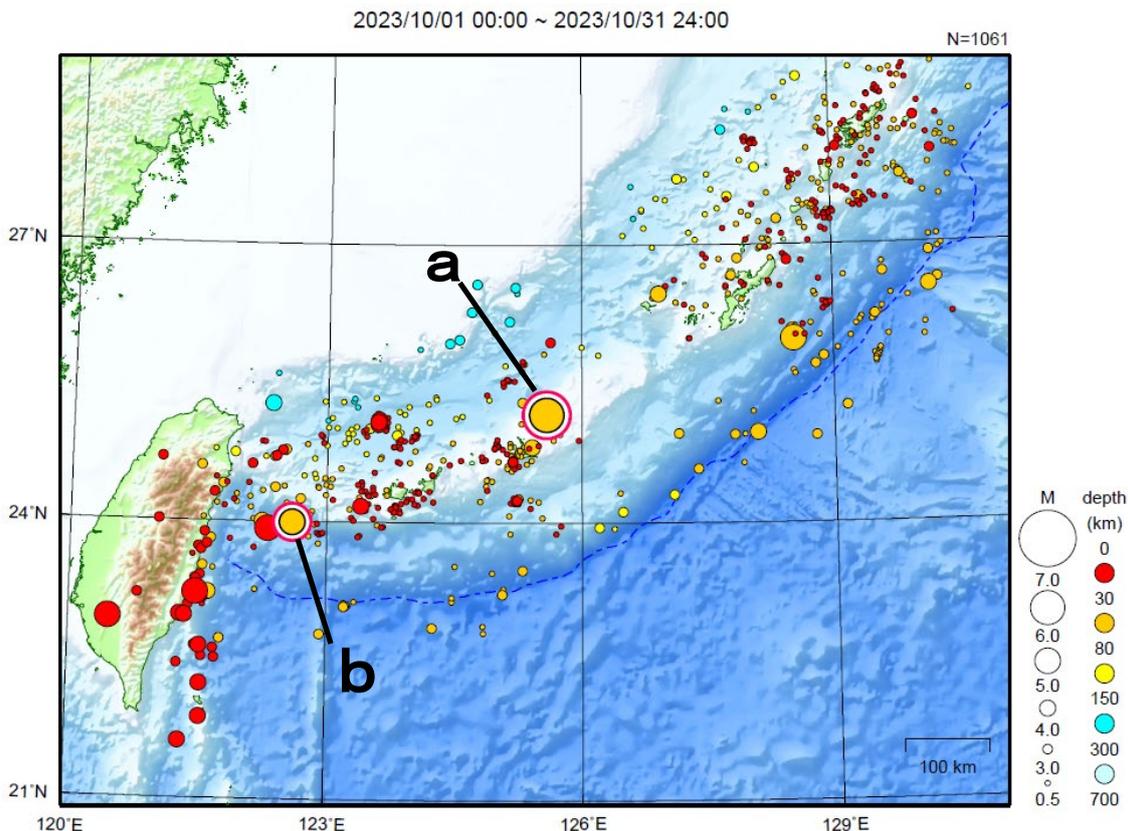


図10 沖縄地方の震央分布図（2023年10月1日～10月31日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOPO30及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

【概況】

10月に沖縄地方で震度1以上を観測した地震は16回（10月は4回）であった。
10月中の主な活動は次のとおりである。

- a 16日19時42分に宮古島近海の深さ17km（CMT解による）でM6.0の地震が発生し、宮古島市で震度4を観測したほか、沖縄本島から西表島にかけて震度3～1を観測した。（p.4、13参照）。
- b 24日08時05分に与那国島近海の深さ33kmでM5.9の地震が発生し、与那国町で震度3を観測したほか、多良間島から与那国島にかけて震度2～1を観測した（p.14参照）。

（図の範囲外）

鳥島近海（鳥島から南西に約100km）では、2023年10月2日から9日にかけて、M6.0以上の地震が4回発生するなど、地震活動が活発になった。5日10時59分には深さ10km（CMT解による）でM6.5の地震（震度1以上を観測した地点はなし）が発生し、東京都の八丈島八重根で0.2mの津波を観測した。また、6日10時31分にはM6.0の地震（震度1以上を観測した地点はなし）が発生し、八丈島八重根で0.2mなど、八丈島及び鹿児島県で津波を観測した。さらに、これらの地震の震源付近では、9日04時頃から06時台にかけて、規模が小さいうえに地震波のP相及びS相が不明瞭なため震源が決まらないものも含めて地震が多発した。この地震活動により、八丈島八重根で0.7mなど、伊豆諸島、小笠原諸島及び千葉県から沖縄県にかけての太平洋沿岸で津波を観測した。

沖縄地方では、9日04時頃から06時台にかけての地震活動により、南城市安座真で5cm津波を観測した（p.48～66参照）。